

質問 1. ヘルパーの対応や親切さについて

あすかでは毎年ご利用者満足度アンケートを実施しています。

アンケート調査を基に、事業所としての課題と改善方法について話し合いを行っています。

今年度行いましたアンケート調査結果とご利用者の貴重なご意見をまとめました。

回答項目	比率	葉書枚数
満足	70%	30 枚
おおむね満足	26%	11 枚
やや不満	4%	2 枚
不満		0 枚

質問 2. ヘルパーの身だしなみや言葉遣いについて

回答項目	比率	葉書枚数
満足	72%	31 枚
おおむね満足	26%	11 枚
やや不満	2%	1 枚
不満		0 枚

質問 3. ヘルパーの介護技術について

回答項目	比率	葉書枚数
満足	67%	29 枚
おおむね満足	16%	7 枚
やや不満	5%	2 枚
不満		0 枚

質問 4. ヘルパー間の連携はとれていますか

回答項目	比率	葉書枚数
満足	72%	31 枚
おおむね満足	21%	9 枚
やや不満	5%	2 枚
不満	2%	1 枚

質問 5. 事業所の対応について

回答項目	比率	葉書枚数
満足	65%	28 枚
おおむね満足	19%	8 枚
やや不満	7%	3 枚
不満		0 枚
特になし		1 枚

質問 6. サービスには何が重要だと思いますか

- ・笑顔。あすかさんにはいつもいただいています。いつもありがとうございます。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・ヘルパーさんは、色々な人の家に訪問しているので大変だと思う。何かあった時（辛いことなど）には心許せる人に相談してくださいね。
- ・気持ち、心配り、真心と思いやり、利用者に寄り添う心、共感する心…でしょうか。
- ・お互いのコミュニケーションとお互いの少しの柔軟さかと思います。
- ・個人に合った対応、相手の立場に立って対応する。又、時間厳守（限られた時間を守ること）。
- ・高齢者や障がい者は十人十色、千差万別なので、介護には忍耐力が大切だと思います。
- ・利用者に介護されている状況を現状の視察を時々行くと良いと思います。行っているかと思いますが…
- ・体調が急に悪くなったりしたときはお願いしたいと思います。
- ・少し機械的な対応でありもう少し友だちのような親近感が欲しい。時々依頼者との会話もあっていいのでは…。
- ・何か月も同じヘルパーばかり派遣されているとスキルが違うので困ることが出てきた。急に変わると慌てる方もいるので2週ローテーションがベスト。
- ・規則が優先でありこれが前面にでてしまっている。
- ・一度使用した尿取りパッド、汚れていないパッドは再度利用して欲しい。
- ・汚れたオムツはゴミ箱までの持ち方、開いたまま端を持っていくのではなく、おしりふきの中に入れて丸めた後ゴミ箱に持って行ってほしい。
又、着替え後は身体が冷えないよう早く布団をかけてほしい
- ・事業所とのやりとりは具体的な会話があれば利用者側はありがたい



会報

あすか 

会報 19 号

2020 年 3 月吉日発行

NPO（特定非営利活動）法人 あすかユー・アイネット

〒301-0043 龍ヶ崎市松葉 3 丁目 12 番地 2

事務所（龍ヶ崎）電話：0297-60-8281 F A X：0297-60-8288

連絡所（牛久）電話：029-830-8307 F A X：029-830-8308

（各事業直通）

・訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業（あすか）

・障害者福祉サービス事業（あすか）

電話（龍）0297-60-8282 （牛）029-874-0477

・相談支援事業（あすか）

電話（龍）0297-85-2339 （牛）029-874-0477

http://www.asuka-npo.or.jp（編集責任者：中村 恵美子）



1年間の活動報告

6月28日(金)ヘルパー研修会 非常時・緊急時の食事作り



非常時でも調理ができる方法として、バッククッキングの実習風景
湯銭で、オムレツ、ラタトゥイユ、ココアケーキを調理して試食をしてみました。

7月27日(土)松葉小学校 夏祭り

あすかの力を合わせて、地域の夏祭りにおもちゃ屋さんとして出店！
なんと、クワガタ君も出店されました。
そして、素敵な出会いも...



10月15日 ヘルパー研修会 オープンダイアログとは何か？ 哲学、考え方、対話、つなぐをあわせていく

オープンダイアログのゴールは、全員が合意に達することではありません。
それぞれの異なった理解を、うまくつなぎ合わせ、共有することです。合意や結論は、この過程から一種の「副産物」のようにしてもたらされるものです。



7月12日(金) 牛病院訪問介護センターあすかの合同研修 訪問介護における自立支援の実態と課題

訪問介護における自立支援の実態と課題についてグループワークを行いました。



12月6日(金) 精神分析的理解の基礎知識

～水戸どんぐりクリニック人見先生を迎えて～

- ◆ ヒトはなぜ話をすると楽になるのか？
 - ❖ 不安や不満は消化されるまで居座り続ける
 - ❖ しかも、「分からない」「モヤモヤした」ままでは消化もされない
 - 思い出せない「あの曲？」
 - 指のささくれ、歯間に引っかかった○○...
- 「言葉にする」という行為は、「分からなかった」モノに名前を与えて対象化を促す
対象化されたモノは、考えたり扱ったりできるモノとなり、「消化する」ことを可能にする
➢ 「分かった」途端にスッキリする



嗜煙吸引研修風景

ご利用者の苦痛を取り除き、安楽な生活ができるように認定特定行為従事者の取得と実務に向けて、緊張しながら研修と実技を重ねています。



あすかユーアイネットの活動紹介

有償ボランティア ふれあい

NPO法人あすかユーアイネットの本来の活動です。パンフレットの表紙にある「高齢者、障がい者、その他の困難を抱える方が健康で安心して暮らしていくことができるように会員同士でお手伝いします。困っている時はお互いさまの精神で生活支援、福祉、子育てを行います。」の活動です。

現在は、利用料や条件の違いで3種類の活動があります。

- ①公的な支援を受けておらずケアマネージャーなどが介在しない利用者対象のふれあいサービス
- ②公的な支援を受けていてケアマネージャーなどが介在し、ヘルパー有資格者の提供が適正と思われる利用者対象の公的介護枠外サービス
- ③公的な支援をうけていてケアマネージャーなどが介在し、龍ヶ崎市独自の研修修了者の提供が適正と思われる利用者対象の公的介護枠外サービス

実際のサービスとしては、公的な支援ではできない、草むしり、窓ふき、ペットの世話、外出時の同行、庭の手入れ、話し相手など、協力してくれる人がいれば、できることは何でもやりますが、常に利用依頼があるわけではないため、協力者の確保が難しいのが現状です。

ふれあい活動は介護保険や障がい福祉サービスでできないところを補える点で、他の事業所にはない強みだと思っておりますので、会員である皆様のご協力をお願いします。

特別支援教育支援

龍ヶ崎市内小中学校の障がい児の支援です。現在、特別支援教育支援は龍ヶ崎市内の3つのNPO法人が市の受託事業として実施しており、あすかユーアイネットが担当しているのは、龍ヶ崎西小学校、川原代小学校、龍ヶ崎小学校の3つの学校です。市役所から正式に依頼されている対象児童は少ないのですが、現実には多くの発達障がい児童の支援にあたっています。支援員は3校合わせて14名です。障害児支援と言うと、身体障害児の介助のイメージがあるかもしれませんが、現在あすかが担当しているのは、知的障害、自閉症、ADHD、学習障害などの先天的に脳に障害がある児童、養育環境の影響で出る愛着障害がある児童など、学校生活を送る上で支援が必要なお子さんの支援をしています。障害の程度はさまざまなので、その児童に合わせた支援が必要になってきますが、一番念頭に置いているのは児童の安全を確保することです。また、先生方との関係の構築も重要なので、日々考えながら支援に入っています。

計画相談支援

サービス利用の申請や相談。
ご利用者さんと事業所さんとの調整。
モニタリングの実施。

◎相談内容◎

- ・良く聴いてみたら転んでしまっ骨折していた！
- ・お風呂に入りたけれど、福祉用具が身体に合わない。
- ・入所したばかりは泣いていたけど今は役割を担っている。
- ・お店に出て自分の力で働きたい。
- ・普通の歯医者さんではなかなか診てもらえない。
- ・家から外にすることができない。

移動支援

ずっとお母さんと一緒に受診していたの。でも、お母さんも歳を重ねてきたから大変になってきた。私一人で受診できるようにならなきゃいけないんだよね。
ヘルパーさんと一緒に電車を乗り継いで定期受診先へチャレンジ。



まちカフェ「らくてい」構想中

ご近所の皆様に向けて新しいコミュニティを作り、居場所作りのために近隣住民の方々に集い語らう場を提供し交流の輪を広げていく目的で、まちカフェ「らくてい」のオープンに向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により延期としました。
ご興味のある方のご参加・募集等も状況を見ながら検討したいと思います。
この状況が早く収まりますようお願いばかりです。
皆さまにおかれましても、手洗いやうがいまたは目、鼻、口に触れないようお気をつけください。

